

C. 検査項目および基準値

2026 年 6 月 15 日現在

ご利用の手引き

基準値の見方

① 検査項目	② 基準値		③ 単位	④ 採用した病態識別 (臨床判断)	⑤ 報告 時間	⑥ 方法	⑦ 参照文献
	男性	女性					
中性脂肪 (TG)	40～ 149*	30～ 149*	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高トリグリセライド 血症 ≥ 150 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (GK・GPO:FG 消去)	共用基準範囲 日本動脈硬化学会:動脈硬化性 疾患診療ガイドライン 2002 年版

- ① 検査項目名称。一部()内は検査項目略称を記載しています。
- ② 測定値を評価する際のものさしとなる基準値は、基準個体(国際的に取り決められた定義を満たした健常人)に基づく基準範囲、学会がガイドラインなどで示す臨床判断値(診断基準値、カットオフ値、治療閾値など)それらが無いものは文献の記載値(多くは基準範囲に準じた設定値)を記してあります。
- ③ 検査結果報告値の単位を記載しています。
- ④ 基準値を設定するにあたり採用した臨床判断値を記載しています。本基準値表の数値のほとんどは基準範囲ですが、(*) の印がついたものは臨床判断値です。
- ⑤ 検査結果を報告するまでに要する時間です。
- ⑥ 検査方法名称を記載しています。
- ⑦ 基準値設定の根拠とした引用文献等を記載しています。

生化学検査

＜電解質＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
ナトリウム (Na)	138～145		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
カリウム (K)	3.6～4.8		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
クロール (CL)	101～108		mmol/L		1～3 時間	イオン電極 選択法(希釈)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
無機リン (Pi)	2.7～4.6		mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
カルシウム (Ca)	8.8～10.1		mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
マグネシウム (Mg)	1.8～2.3		mg/dL		1～3 時間	酵素法	(添付文書) アキュラスオート Mg

＜微量金属＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
血清鉄 (Fe)	40～188		μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレ ート剤: Nitroso- PSAP)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
総鉄結合能 (TIBC)	253～ 365	246～ 410	μg/dL		1～3 時間	計算法 (Fe+UIBC)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
不飽和鉄結合能 (UIBC)	170～ 250	180～ 270	μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレ ート剤: Nitroso- PSAP)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
亜鉛 (Zn)	80～130		μg/dL		1～3 時間	直接比色法(キレ ート剤: 5-Br-PAPS)	(添付文書) アキュラスオート Zn

＜低分子窒素化合物＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
尿素窒素 (BUN)	8.0～20.0		mg/dL		1～3 時間	ウレアーゼ・ GLDH・UV 法 (アンモニア消去)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
クレアチニン (CRE)	0.65～ 1.07	0.46～ 0.79	mg/dL		1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
シスタチン C	0.58～ 0.98	0.52～ 0.88	mg/L		1～3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) ノルディアシスタチン C
尿酸 (UA)	3.7～ 7.0*	2.6～ 7.0*	mg/dL	*高尿酸血症診断 基準 >7.0 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (ウリカーゼ・POD)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 高尿酸血症・痛風の 治療ガイドライン
アンモニア (NH ₃)	12～66		μg/dL		0.5～1 時間	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

＜脂質関連物質＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
中性脂肪 (TG)	40～ 149*	30～ 149*	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高トリグリセライド 血症 ≥150 mg/dL	1～3 時間	酵素法(GK・ GPO:FG 除去)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 日本動脈硬化学会:動脈硬 化性疾患診療ガイドライン 2002 年版
総コレステロール (TC)	142～248		mg/dL		1～3 時間	酵素法 (CE・COD)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 添付文書の引用元: 日本動脈硬化学会:動脈硬 化性疾患診療ガイドライン 2002 年版
HDL-C	40*～ 90	40*～ 103	mg/dL	*脂質異常症 診断基準 低 HDL コレステ ロール血症 <40 mg/dL	1～3 時間	酵素法 (選択阻害法)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 動脈硬化性疾患予防ガイド ライン 2012 年版日本動脈硬 化学会編, p13
LDL-C	65～139*		mg/dL	*脂質異常症 診断基準 高 LDL コレステ ロール血症 ≥140 mg/dL	1～3 時間	酵素法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 動脈硬化性疾患予防ガイド ライン 2012 年版日本動脈硬 化学会編, p13

＜酵素関連物質＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
LD	124～222		U/L		1～3 時間	IFCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
AST	13～30		U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ALT	10～42	7～23	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CK	59～248	41～153	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CK-MB	0～11*		U/L	*心筋梗塞診断 ≥12 U/L	1～3 時間	免疫阻害法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
ALP	38～113		U/L		1～3 時間	IFCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
γ-GT	13～64	9～32	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
コリンエステラー ゼ(ChE)	240～ 486	201～ 421	U/L		1～3 時間	JSCC 標準化対応法 (基質:p-ヒドロキ シベンゾイル コリン)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
アミラーゼ(AMY)	44～132		U/L		1～3 時間	JCCLS 標準化対応法 (基質:エチリデン -G7PNP)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
P-AMY	15～50		U/L		1～3 時間	免疫阻害法(基 質:エチリデン- G7PNP)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
LIP	13～55		U/L		1～3 時間	合成基質 比色法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
LD アイソザイム					2～5 日	アガロース 電気泳動法	(添付文書) タイタン ジェル S-LD 試薬
LD1%	20.0～31.0		%				
LD2%	28.8～37.0		%				
LD3%	21.5～27.6		%				
LD4%	6.3～12.4		%				
LD5%	5.4～13.2		%				
ALP アイソザイム					2～5 日	アガロース 電気泳動法	(添付文書) クイック EP BAP-IF 試薬
ALP2(肝型)	29.3～67.9		%				
ALP3(骨型)	26.9～67.6		%				
ALP5(小腸型)	0.0～18.1		%				

<生体色素>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
総ビリルビン (T-BIL)	0.4～1.5		mg/dL		1～3 時間	酵素法(ビリルビ ンオキシダーゼ)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
直接ビリルビン (D-BIL)	0.0～0.2		mg/dL		1～3 時間	酵素法(ビリルビ ンオキシダーゼ)	(添付文書) イアトロ LQ D-BIL (A)
間接ビリルビン (I-BIL)	0.0～0.8		mg/dL		1～3 時間	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

<蛋白・膠質反応>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
総蛋白(TP)	6.6~8.1		g/dL		1~3 時間	ビュレット法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
アルブミン(ALB)	4.1~5.1		g/dL		1~3 時間	BCP 改良法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
A/G	1.32~2.23				1~3 時間		日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
トランスサイレチ ン(TTR)	22.0~40.0		mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法 (TIA)	(添付文書)N-アッセイ TIA プ レアルブミンニットーポー
蛋白分画					翌日	アガロース 電気泳動法	(添付文書)クイックジェル 血清蛋白分画測定操作法
ALB-F%	54.8~65.4		%				
α 1G-F%	2.3~3.8		%				
α 2G-F%	5.0~8.9		%				
β G-F%	9.0~14.6		%				
γ G-F%	13.2~23.9		%				
ALB 量	3.94~4.84		g/dL				
α 1-G 量	0.16~0.27		g/dL				
α 2-G 量	0.36~0.63		g/dL				
β -G 量	0.64~1.04		g/dL				
γ -G 量	0.90~1.81		g/dL				

<糖質関連物質>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
血糖(FBS)	73~109		mg/dL		0.5~1 時間	GOD 酸素電極法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
HbA1c(NGSP)	4.9~6.4*		%	*糖尿病診断基準 糖尿病型 $\geq 6.5\%$	0.5~1 時間	高速液体クロマト グラフィ法 (HPLC)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲 日本糖尿病学会糖尿病診療 ガイドライン 2019
グリコアルブミン (GA)	11.0~16.0		%		1~3 時間	酵素法	(添付文書)ルシカ GA-L2

免疫検査

＜血漿蛋白など＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
CRP	0~0.14		mg/dL		1~3 時間	ラテックス比濁法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
プロカルシトニン (PCT)	0~0.49*		ng/mL	*敗血症鑑別診断 ≥0.5 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 プ ラームス PCT Meisner,M.Procalcitonin(PCT)-A new innovative infection parameter. Biochemical and clinical.aspects. Thieme Stuttgart New York.2000. ISBN:3-13-105503-3 Clinical an Laboratory Standards Institute. Evaluation of Detection Capability for Clinical Laboratory Measurement Procedure. CLSI Document EP17-A2. Wayne, PA: CLSI:2012
KL-6	0~499*		U/mL	*間質性肺炎診断 ≥500 U/mL	1~3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書)ナノピア KL-6
SP-D	0~109*		ng/mL	*間質性肺炎診断 ≥110 ng/mL	1~3 時間	ラテックス 免疫比濁法	(添付文書)ナノピア SP-D
RF	0~14*		IU/mL	*関節リウマチ診断 ≥15 IU/mL	1~3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’RF リウマトイド因子標準化のガ イドライン(日本臨床検査標 準化協議会認証)
MMP-3	36.9~ 121	17.3~ 59.7	ng/mL		1~3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書)パナクリア MMP- 3(ラテックス)
C3	73~138		mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
C4	11~31		mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
CH50	31.6~57.6		U/mL		1~3 時間	リボソーム免疫 測定法	(添付文書) 補体価-HA テストワコー
IgG	861~1747		mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
IgA	93~393		mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
IgM	33~183	50~269	mg/dL		1~3 時間	免疫比濁法(TIA)	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
総 IgE	0~232		IU/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 IgE
β2-マイクログロ ブリン	0.9~2.0		μg/mL		1~3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’β2-M
フェリチン	13~277	5~152	ng/mL		1~3 時間	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト‘栄研’FER

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
NT-proBNP	0~124*		pg/mL	*心不全診断 ≥125 pg/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 NT-proBNP
トロポニン T	0~0.014		ng/mL		1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 トロポニン T hs
TARC	0~450 15歳以上 0~743 2歳以上 15歳未満 0~998 1歳以上2歳未満 0~1367 6ヶ月以上 12ヶ月未満		pg/mL		1~3 時間	化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL TARC 試薬

<腫瘍関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
CEA	0~5.0*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >5.0 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CEA II
CA19-9	0~37*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断>37U/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA19-9
CA125	0~35*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断>35U/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA125
CA15-3	0~25*		U/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >25 U/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 CA15-3
AFP	0~10*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >10 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PSA	0~4.00*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >4.00 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	日本泌尿器科学会編集:前立腺がん検診ガイドライン 2018年版
SCC	0~2.5*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >2.5 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 SCC
NSE	0~16.3*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >16.3 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 NSE
シフラ	0~3.5*		ng/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >3.5 ng/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 シフラ 21-1
ProGRP	0~75*		pg/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 >75 pg/mL	1~3 時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 ProGRP
PIVKA-II	0~39*		mAU/mL	*腫瘍性疾患の 補助診断 ≥40 mAU/mL	1~3 時間	化学発光酵素免疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL PIVKA-II 試薬
可溶性 IL-2 レセプター	122~496		U/mL		1~3 時間	ラテックス凝集免疫比濁法	(添付文書) ナノピア IL-2R

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
M2BPGi	0~0.83		AU/mL		1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL M2BPGi-Qt 試薬

<感染症関連>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
HBs 抗原	(-):<0.03 (+):≥0.03		IU/mL	感染症診断(HBV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBsAg 試薬
HBs 抗体	(-):<5.0 (+):≥5.0		mIU/mL	感染症診断(HBV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBsAb 試薬
HBe 抗原	(-):<1.0 (+):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HBV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBeAg 試薬
HBe 抗体	(-):<50.0 (+):≥50.0		inh.%	感染症診断(HBV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBeAb 試薬
HBc 抗体	(-):<1.0 (+):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HBV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HBcAb 試薬
HCV 抗体	(-):<1.0 (±):1.0~5.0 未 満 (+):≥5.0		C.O.I.	感染症診断(HCV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HCVAb 試薬
TP 抗体	(-):<1.0 (+):≥1.0		C.O.I.	感染症診断(梅毒)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL TPAb 試薬
RPR 定性	(-)				1~3 時間	ラテックス凝集免 疫比濁法	
RPR 定量	<1.0		RPR U	感染症診断(梅毒)	1~3 時間	ラテックス凝集免 疫比濁法	(添付文書)メディエース RPR
HIV 抗原・抗体	(-):<1.0 要精査:≥1.0		C.O.I.	感染症診断(HIV)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HIVAg+Ab 試薬
HTLV-1 抗体	(-):<1.0 (+):≥1.0		C.O.I.	感染症診断 (HTLV-1)	1~3 時間	化学発光酵素免 疫測定法(CLEIA)	(添付文書) HISCL HTLV- I Ab 試薬

<その他>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
エンドトキシン	<5.0		pg/mL	感染症診断 (GMR・真菌症)	2~4 時間	比濁時間分析法	(添付文書) エンドトキシン テストワコー
β-D-グルカン	<11.0		pg/mL	感染症診断 (真菌症)	2~4 時間	比濁時間分析法	(添付文書) β-グルカン テストワコー

内分泌検査

＜甲状腺関連＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
FT3	2.3～4.0		pg/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 FT3Ⅲ
FT4	0.9～1.7		ng/dL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 FT4Ⅳ
TSH	0.61～4.23		mIU/L		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	日本臨床検査医学会標準化委 員会. 甲状腺刺激ホルモン (TSH)値のハーモナイゼーション について https://www.jslm.org/committees/standard/20200130TSH.pdf
サイログロブリン	0～33.7		ng/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 TgⅡ
TRAb	0～1.9*		IU/L	*自己免疫性甲状 腺疾患診断 >2.0 IU/L	1.5～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 TRAb
TgAb	0～27*		IU/mL	*自己免疫性甲状 腺疾患診断 >28 IU/mL	1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 Anti Tg
TPOAb	0～15*		IU/mL	*自己免疫性甲状 腺疾患診断 >16 IU/mL	1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 Anti TPO

＜性腺・胎盤関連＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
LH	2.2～8.4	卵泡期 1.4～15.0 排卵期 8.0～100.0 黄体期 0.5～15.0 閉経後 11.0～50.0	mIU/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 LH
FSH	1.8～ 12.0	卵泡期 3.0～10.0 排卵期 5.0～24.0 黄体期 1.3～6.2 閉経後 26.0～120.0	mIU/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 FSHⅡ
プロラクチン (PRL)	4～14	閉経前 5～29 閉経後 3～15	ng/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス 試薬 プロラクチン

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
エストラジオール (E2)	15~49	卵胞期 29~197 排卵期 36~526 黄体期 44~492 閉経後 ≤47	pg/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 E2IV
プロゲステロン	≤0.2	卵胞期 ≤0.3 排卵期 ≤5.7 黄体期 2.1~24.2 閉経後 ≤0.3	ng/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 プロゲステロン III
テストステロン	131~871	閉経前 11~47 閉経後 4~43	ng/dL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 テストステロン II

<その他>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
インシュリン	≤18.7		μU/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 インスリン
C-ペプチド	0.8~2.5		ng/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 C-ペプチド
コルチゾール	午前 6 時-10 時: 7.1-19.6 午後 4 時-8 時: 3.0-9.8		μg/dL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 コルチゾール II
I-PTH	17.3~74.1		pg/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 PTH
ACTH	7.2~63.3		pg/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 ACTH
GH	≤2.47	0.13~9.88	ng/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 hGH 文書図中 男性 20-79 歳、 女性 21-77 歳の 参考基準範囲採用
ソマトメジン C	表 1. 参照		ng/mL		1~3時間	電気化学発光免疫測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 IGF-1

表 1. 日本人の性別、年齢別の血中ソマトメジン C (IGF-1) 基準範囲

年齢	男性	女性	年齢	男性	女性
0	11~149	15~154	39	95~266	100~250
1	14~148	23~186	40	94~263	98~245
2	18~154	32~213	41	94~261	95~240
3	24~164	40~227	42	93~259	93~236
4	32~176	48~238	43	92~257	90~233
5	44~193	56~252	44	92~255	88~229
6	55~215	69~287	45	91~253	87~226
7	63~247	89~357	46	90~250	85~224
8	72~292	111~438	47	90~250	83~221
9	84~350	133~517	48	89~248	82~219
10	99~423	155~588	49	88~246	81~218
11	113~499	175~638	50	87~245	80~216
12	125~557	188~654	51	87~243	79~215
13	133~579	193~643	52	86~242	78~213
14	138~570	193~625	53	85~240	77~212
15	141~552	192~614	54	84~239	76~211
16	142~543	192~611	55	84~238	75~210
17	142~540	191~599	56	83~237	74~208
18	142~526	188~574	57	82~236	73~207
19	143~501	182~539	58	81~235	72~205
20	142~470	175~499	59	80~233	71~203
21	139~436	168~459	60	79~232	70~201
22	135~405	161~425	61	77~230	69~198
23	131~379	155~397	62	76~228	68~196
24	128~356	151~375	63	75~226	66~194
25	125~337	147~358	64	73~224	65~191
26	119~329	146~336	65	72~221	64~188
27	116~322	141~328	66	70~219	62~186
28	114~315	137~320	67	68~216	61~183
29	111~309	133~312	68	66~213	60~180
30	109~303	129~304	69	65~209	59~177
31	107~297	126~297	70	63~206	57~175
32	105~292	122~290	71	61~202	56~172
33	103~287	119~283	72	58~198	55~170
34	102~283	115~277	73	56~194	54~167
35	100~279	112~271	74	54~190	53~165
36	99~275	109~265	75	52~185	52~163
37	97~272	106~260	76	50~181	50~160
38	96~269	103~254	77	48~177	49~158

血液検査

＜血液一般・形態＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参照文献
	男性	女性					
白血球数	3300～8600		/ μ L		0.5～3時間	フローサイトメトリー	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
赤血球数	435～555	386～492	$\times 10^4$ / μ L		0.5～3時間	電気抵抗法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ヘモグロビン濃度	13.7～16.8	11.6～14.8	g/dL		0.5～3時間	SLS 法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
ヘマトクリット値	40.7～50.1	35.1～44.4	%		0.5～3時間	電気抵抗法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
血小板数	15.8～34.8		$\times 10^4$ / μ L		0.5～3時間	電気抵抗法またはフローサイトメトリー	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCV	83.6～98.2		fL		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCH	27.5～33.2		pg		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
MCHC	31.7～35.3		g/dL		0.5～3時間	計算法	日本臨床検査標準協議会 共用基準範囲
網赤血球数	0.8～2.2		%		0.5～3時間	フローサイトメトリー	金井正光, 他: 臨床検査法提要
血液像						フローサイトメトリーまたは目視算定法	JSLH(日本検査血液学会) 血球形態標準化 WG
好中球	38.5～80.5		%		0.5～3時間		
桿状核球	0.5～6.5		%		2時間～翌日		
分葉核球	38.0～74.0		%		2時間～翌日		
リンパ球	16.5～49.5		%		0.5～3時間		
単球	2.0～10.0		%		0.5～3時間		
好酸球	0.0～8.5		%		0.5～3時間		
好塩基球	0.0～2.5		%		0.5～3時間		

＜血液凝固関連＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
PT	9.6～13.1		sec		30～40 分	透過光凝固点 検出方式	(添付文書)レボヘム TM PT
PT(%)	70～130		%		30～40 分	計算法	(添付文書)レボヘム TM PT
PT-INR	0.80～1.20				30～40 分	計算法	
APTT	24.0～34.0		sec		30～40 分	透過光凝固点 検出方式	(添付文書)レボヘム TM APTT SLA
APTT 比	<1.5*			*抗凝固・抗血小板 療法モニタリング			循環器疾患における抗凝固・ 抗血小板療法に関するガイド ライン
フィブリノゲン量	200～400		mg/dL		30～40 分	透過光凝固点 検出方式	(添付文書)トロンボチェック Fib(L)
FDP-D ダイマー	≤1.0		μg/mL		30～40 分	ラテックス比濁法	(添付文書)リアスオート TM D ダイマーネオ
アンチトロンビン	80～130		%		30～40 分	合成基質法	(添付文書)レボヘム TM AT
プラスミノゲン	80～130		%		30～40 分	合成基質法	(添付文書)レボヘム TM プラスミノゲン
可溶性フィブリン (SF)	<7.0		μg/mL		30～40 分	ラテックス比濁法	(添付文書)ナノピア SF
可溶性フィブリン モノマー複合体 (FM)	≤6.1		μg/mL		30～40 分	ラテックス比濁法	(添付文書)オートLIA® FM

＜白血球表面抗原＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
CD4/CD8 比	0.4～2.3				0.5～1 時間	フローサイトメ トリーによる直接 免疫蛍光法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

＜血沈＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
血沈 (1 時間値)	2～10	3～15	mm			Westergren 法 に基づく方法	金井正光, 他: 臨床検査法提要

＜遺伝子＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
BCR::ABL1mRNA 定量(IS)	検出せず		%		2～6 日	逆転写-定量 PCR 法	(添付文書) ipsogen BCR-ABL1 Mbc IS- MMR DX 試薬

一般検査

＜尿定性＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
尿定性							(添付文書)ウロペーパーα Ⅲ‘栄研’ (添付文書)ウロペーパーⅢ ‘栄研’
尿蛋白	(-)				5～15 分	試験紙法 (蛋白誤差)	
尿糖	(-)				5～15 分	試験紙法(GOD)	
尿 pH	4.5～7.5				5～15 分	試験紙法 (pH 指示薬)	
尿ケトン体	(-)				5～15 分	試験紙法(ニトロ プルシド Na)	
尿ウロビリノーゲ ン	(±)				5～15 分	試験紙法(ジア ゾ・カップリング)	
尿ビリルビン	(-)				5～15 分	試験紙法(ジア ゾ・カップリング)	
尿潜血	(-)				5～15 分	試験紙法 (Hb 接触活性)	
尿亜硝酸塩還元	(-)				5～15 分	試験紙法 (グリース法)	
尿白血球	(-)				5～15 分	試験紙法(白血 球エステラーゼ 活性法)	
尿比重	1.005～1.030				5～15 分	反射型屈折率測 定法 または試験紙法 (陽イオン抽出 法)	
尿沈渣							尿沈渣検査法 2010, 社団法人 日本臨床衛生検査技師会 2011.
赤血球	<5		/HPF		1～3 時 間	鏡検	
白血球	<5		/HPF		1～3 時 間	鏡検	

＜尿中有形成分定量＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿中有形成分 定量							
赤血球粒子数	<20.0		/ μ L		30～60 分	フローサイト メトリー	血尿診断ガイドライン 2013
白血球粒子数	<27.7		/ μ L		30～60 分	フローサイト メトリー	尿沈渣検査法 2010, 社団法人 日本臨床衛生検査技師会 2011.
細菌数	(-)				30～60 分	フローサイト メトリー	

＜便検査＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
便脂肪	(-)				当日	ズダンⅢ染色	金井正光, 他: 臨床検査法提要
便中ヘモグロビン	<100		ng/mL		当日	金コロイド法	(添付文書) ネスコート Hb オート

＜髄液検査＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
細胞数	≤ 5		/ μ L		当日	Fuchs-Rosenthal 法	一般社団法人日本臨床衛生 検査技師会: JAMT 教本シリ ーズ 髄液検査技術教本: 2015
糖定量	50～75		mg/dL		当日	GOD 酸素電極法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
蛋白定量	10～40		mg/dL		当日	ピロガロール レッド法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
クロール定量	120～125		mmol/L		当日	イオン電極 選択法(希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要

＜関節液結晶＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿酸ナトリウム 結晶	(-)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要
ピロリン酸カルシ ウム結晶	(-)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要
コレステロール 結晶	(-)				1～3 時間	鏡検	金井正光, 他: 臨床検査法提要

＜妊娠反応＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
HCG 定性	(－)*			*妊娠診断の補助 尿中 HCG 25 mIU/mL 未満に 相当	40～60 分	イムノクロマト法	(添付文書)G チェック CA・N
HCG 定量	血清:0.0～5.0 尿:0.0～3.0		mIU/mL		1～3 時間	電気化学発光免 疫測定法(ECLIA)	(添付文書)エクルーシス試薬 HCG II STAT

尿定量検査

＜尿中成分定量＞

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別 (臨床判断)	報告 時間	方法	参照文献
	男性	女性					
24 時間尿量	600～1600		mL/day				金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿蛋白 1 日量	20～120		mg/day		30～60 分	ピロガロールレッド法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿糖 1 日量	40～85		mg/day		30～60 分	酵素法 (ヘキソキナーゼ)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中クレアチニン 1 日量	500～1500		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中尿酸 1 日量	400～800		mg/day		30～60 分	酵素法 (ウリカーゼ・POD)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中ナトリウム 1 日量	125～250		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中カリウム 1 日量	50～100		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中クロール 1 日量	70～250		mmol/day		30～60 分	イオン電極選択法 (希釈)	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中カルシウム 1 日量	100～300		mg/day		30～60 分	酵素法	(添付文書) アキュラスオート Ca II
尿中無機リン 1 日量	400～800		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中尿素窒素 1 日量	6500～13000		mg/day		30～60 分	酵素法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
尿中アマラーゼ	80～550		U/L		30～60 分	JCCLS 標準化対応法 (基質:エチリデン- G7PNP)	前川真人, 他: 標準臨床検査学臨床化学
尿中アルブミン	<30		mg/g・Cr		30～60 分	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト`栄研`U-ALB
尿中β2-マイクロ グロブリン	≤289		μg/L		30～60 分	ラテックス凝集 免疫比濁法	(添付文書) LZ テスト`栄研`β2-M

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
尿中 C-ペプチド 1 日量	23~155		μg/day		1~3 時間	電気化学発光免疫 測定法(ECLIA)	(添付文書) エクルーシス試薬 C ペプチド

血液ガス検査

<血液ガス>

検査項目	基準値		単位	採用した病態識別(臨床判断)	報告時間	方法	参考文献
	男性	女性					
pH	7.35~7.45				即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PCO ₂	35~45		mmHg		即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
PO ₂	80~100		mmHg		即時	電流測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
HCO ₃ ⁻	22.5~ 26.9	21.8~ 26.2	mmol/L		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
SO ₂	94~99		%		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
BE	-2.0~2.0		mmol/L		即時	計算法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
Ca ²⁺	1.15~1.30		mmol/L		即時	電位差測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要
Lac	0.4~1.8		mmol/L		即時	電流測定法	金井正光, 他: 臨床検査法提要